



県外からの研究視察

先週7日(金)に帯西の道徳教育の視察のために、佐賀県の小学校から来校されました。帯西の「わくわく」について知るために授業などを参観されました。

2時間目は6年1組の道徳の授業を参観してもらいました。授業では帯西イエローの心の「自分の役割を果たすために大切な心とは」について、教科書の「25人でつないだ金メダル」を通して考えました。リルハンメル五輪で銀メダルを取ったスキージャンプの西方さんは、長野五輪ではケガのためにテストジャンパーとして、チームを裏方で支えます。子供たちは裏方に回った西方さんの気持ちと自分を重ねて「選手たちのためにがんばろう」「メダルを取るより重要な役割を果たしたい」と意見を出し合い、「役割」について考え始めます。そして役割を果たすためには「自分の役割はやらなくて後悔するよりやって後悔した方がよい。」「役割を引き受けたら、目標やめあてをもって続けることが成功に繋がる」と大切な心について考えていきました。



3時間目は4年2組の学級活動の授業です。帯西ブルーの学級目標「心きらめく」に近付くための「『だるまん(4年2組のキャラクター)成長すごろく』の内容を決めよう」という議題で子供たちが話し合いました。「4つの心」のそれぞれの集会活動はこれまでやってきたそうですが、「ブルーの心」の集会活動は初めてだそうです。その共有化のために提案理由に「レッド・グリーン・イエローの心が合わさって、自分たちの成長を実感しブルーの感動する心が生まれます。」とあり、これまでの自分たちの成長を感じた出来事をすごろくのマスにしていこうと意欲的に合意形成していきました。「ガシャポンランドはみんなで協力して、完成して感動しました。」「クラス対抗リレーは心が一つになり、あきらめずに最後まで頑張り達成感がありました。」など成長すごろくのマスが話し合いによって決まっていきました。完成が今から楽しみです。



4時間目は1年2組の生活科の授業です。「もうすぐ2年生」という単元の授業でした。授業の中で自分の成長を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことなどの自分の成長を「4つの心」で価値付け、成長を実感として分かるようにしていました。「なわとびが上手にできるようになりました。『帯西レッド』が伸びました。」「ダンスはルールを守って楽しくできました。『帯西言イエロー』が伸びました。」など成長を振り返ります。そして、自分が楽しかった1年生の思い出を1位から3位まで考えて、近くの人と見せ合って、全体に共有していきました。「ぼくは、プールは最初こわかったけど、バシャバシャして中に入ると、気持ちよくてプールが好きになりました。『帯西ブルー』の心を感じました。」など1年生なりの思いが伝わりました。そして自分の成長を支えてくれた先生、友達、家族の存在に気づき、感謝の気持ちを持って授業を終えました。



佐賀の先生に加え、途中熊本市の教育委員会の方も来校され、帯西の子供たちが自由に伸び伸びと発言し、授業中も子供たち同士が傾聴し、意欲的に対話する姿に驚かされていました。また、「これまでこのような授業と学校には出会ったことがない。」と、感心されていました。他県にも帯西の「4つの心」で創る「わくわく」が広がることを願っています。

今回は帯西の研究部に所属する先生方の授業を参観してもらいましたが、帯西では、どの学級の子供たちも受容的な雰囲気の中で授業に参画しています。今回は、自慢の子供たち、そして先生たちの日頃からの取組に私自身が感謝した一日となりました。